

日本森林学会・日本木材学会合同シンポジウム

公開シンポジウム「森と木と環境 part3」

ー森林・林業のゆくえ／九州の現場最前線からー

日 時：2007年4月2日（月）、14時00分～17時30分

会 場：九州大学附属図書館4階視聴覚ホール（箱崎キャンパス）

現在九州では、戦後植栽した人工林がまさに伐期を迎え、その資源としての有効利用が叫ばれ、そのための新たな仕組み作り、同利用の動きが活発化している。一方で、九州各県の環境税新設に象徴される森林の環境への期待も拡大しており、九州の森林は大きな転換期に差し掛かっている。このシンポジウムでは、九州の森林・林業の最前線で御活躍の方々にお集まり頂き、現状をお聞きするとともに、九州の森林のゆくえについて一般人を交えて、真摯に討論する。

皆さんお誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

パネラー

山田 壽夫 氏（九州森林管理局長）

『新国産材時代における国有林の役割～九州森林管理局の取り組み～』

堀川 保幸 氏（中国木材代表取締役社長）

『異樹種集成材技術の確立とスギ材需要の拡大』

安成 信次 氏（安成工務店社長）

『地域材を活用した自然共生型住宅と地域工務店の役割』

矢房 孝広 氏（諸塚村産直住宅推進室事務局長）

『村ぐるみの森林認証取得と町と結ぶ産直住宅』

土井 裕子 氏（NPO 法人五ヶ瀬川流域ネットワーク理事長）

『上下流連携による 山村の仕事おこしと地域づくり』

寺岡 行雄 氏（鹿児島大学助教授、もうかる林業研究会事務局長）

『儲かる林業のために何が必要か～鹿児島での取り組み～』

問合せ先：〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学大学院農学研究院森林資源科学部門 大村寛

E-mail: jfs118@ffp.kyushu-u.ac.jp Fax: 092-642-2869 (代)